

本校の概要

1 開校の経過

六・三制新教育制度は、昭和 21 年 4 月米国教育施設団の報告書が発表され、ついで新憲法の草案公開となってここにほぼ決定し、その実施は昭和 22 年 2 月 26 日の閣議で決定後、第 92 議会において予算が通過。ついで教育基本法・学校教育法の成立に及んで昭和 22 年 4 月 1 日より実施することに決定した。この間、当村（東旭川地区）において、東旭川村新学制実施準備協議会がつくられ、村内 3 校設置並びに分校配置、校名等が定められ、本校は旭川小学校に併設、分校は旭川第五小学校・旭川第七小学校に併置することにした。校名は東旭川村立旭川中学校とした。昭和 22 年 4 月 1 日より旭川小学校長関田正平氏を中心に高等科担任訓導、青年学校職員等が中学校生徒たるべき者を開校まで放置するに忍びずとして、仮授業をすることとし、当初予定されていた小学校南側 4 教室をこれにあて、8 学級生徒の隔日授業が行われた。昭和 22 年 4 月 25 日、初代校長関田正平氏発令、同年 5 月 12 日管内他町村にさきかけて開校式を行い、翌 13 日より、西側青年学校使用教室を整備して 3 教室とし、小学校よりさらに 1 教室を借用して 8 教室を整え、新制中学校としての正式授業を開始した。さらに、20 日に至り教官全員発令（5 月 1 日付）をみ、本校 8 学級（生徒数 339 名）、桜岡分校 2 学級（同 69 名）、日の出分校 1 学級（同 30 名）、教官 13 名をもって発足した。

2 校名の由来

東旭川地区は、屯田兵が入植し開拓したところである。明治 20 年に石狩国上川郡旭川村防風林以東字ウシシュベツ兵村を永山村に編入した。その後、明治 31 年に分村が行われ、旭川の上に「東」の一字をつけて「東旭川村」となった。このときに、開拓当初からの公称であった旭川小学校及び旭川神社の名称は、永久に「東旭川」が称することとなった。本校は昭和 22 年に六・三制の教育制度が導入されたときに東旭川村立旭川中学校として開校し、今日に至っている。

3 校章の由来

図柄は、旭日を象り、8 本の光芒が無限に伸び、円を中心に「中」の文字を配した。旭川中学校を「旭」の光芒と「中」の文字によって象徴している。

旭日は、万物を育み、万物に恵みを垂れる根源である。また 8 本の光芒は、無限の発展を意味し、生徒の健やかな成長への願いが込められている。

4 沿革の概要

S22 年	4 月	1 日	中学校設置認可
	5 月	1 日	初代校長 関田正平ほか教諭 13 名発令
	5 月	10 日	学級編成認可、本校 8 学級、桜岡分校 2 学級 日の出分校 1 学級、生徒数 438 名
S23 年	5 月	12 日	開校式、入学式、授業開始
	6 月	1 日	父母と教師の会発足
	3 月	15 日	第 1 回卒業式、卒業生 48 名
S24 年	11 月	25 日	校舎（第 1 期工事）完成 279 坪 教室 7、教材室、使丁室、湯呑場、便所
	12 月	1 日	本校を新校舎に移す。1 年生は旧校舎
S25 年	4 月	1 日	日の出分校廃止
S26 年	10 月	2 日	校舎（第 2 期工事）完成 277 坪 教室 5、音楽室、校長室、職員室、クラブ室、便所
S27 年	8 月	12 日	同窓会発足
S28 年	10 月	15 日	学校図書館開設
S29 年	4 月	1 日	桜岡分校独立 桜岡中学校となる。
	7 月	1 日	校歌制定
	9 月	25 日	屋内体育館完成 219 坪 校旗入魂式
S32 年	11 月	3 日	開校 10 周年記念式典記念事業として吹奏楽器購入
S36 年	10 月	30 日	校舎増築（普 2、音楽室、技術室、理科室）
S38 年	8 月	15 日	旭川市と合併 旭川市立旭川中学校と改称
S42 年	10 月	28 日	開校 20 周年記念式典

S43 年	5 月	28 日	給食開始
S52 年	10 月	8 日	開校 30 周年記念式典
S56 年	1 月	15 日	鉄筋コンクリート 3 階建新校舎落成
H 4 年	8 月	20 日	鉄筋コンクリート平屋建体育館落成
	12 月	22 日	多目的室、技術室、校長室、保健室、家庭科室、理科室、コンピュータ室等落成
H 5 年	2 月	15 日	音楽室、美術室、多目的教室、改修工事
H13 年	8 月		プール撤去、テニスコート改修
	6 月		前庭ポプラの木伐採
	10 月		植樹祭（桜の苗木 10 本）
H14 年	12 月	1 日	校訓制定（創誠健和）
H16 年	9 月		校舎屋根塗装・体育館屋根改修工事
H17 年	10 月	26 日	PTA 広報紙文部科学大臣賞受賞祝賀会举行
H19 年	4 月	1 日	旭川第一中学校と統合
	5 月		社会貢献によるグラウンド整備（NIPPO）
H20 年	10 月	12 日	開校 60 周年記念式典
	2 月		開校 60 周年記念協賛事業
	5 月	23 日	同窓会より寄贈ステージ幕ほか 開校 60 周年記念植樹（桜 15 本） フォレスト旭川カントリークラブより寄贈 暖房設備更新
H21 年	11 月		絵画寄贈『野島半島：終えるトド原』（小島善太郎作）
	2 月		彫塑寄贈『響（19 歳の春）』（関秋宏作）
H22 年	5 月	11 日	社会貢献によるグラウンド整備（野田建設）
H25 年	10 月	12 日	吹奏楽部「東日本学校吹奏楽大会」で金賞受賞
H26 年	10 月	25 日	視聴覚教育・放送教育合同全国大会会場校（理科と社会科の授業を公開）
H27 年	4 月	1 日	旭川市小中連携教育モデル校事業指定校
	10 月	1 日	北海道「小中一貫推進事業」指定校
	5 月	3 日	社会貢献によるグラウンド整備（野田建設）
H29 年	5 月	12 日	社会貢献によるグラウンド整備（野田建設）
H30 年	12 月		中学校職員室の小学校舎内への移動
R 1 年	1 月		あさひやま学校運営協議会発足
			中学校改修工事（駐車場等 R2 年度まで）
R 3 年	10 月		旭川市地域学校協働活動モデル中学校区指定
R 4 年	10 月	8 日	吹奏楽「東日本学校吹奏楽大会」で金賞受賞
R 5 年			地域貢献活動参加（清掃・除雪ボランティアほか）
R 6 年	3 月		『東旭川魅力発見 MAP』の発行に協力（あさひやまプライドプロジェクトの一環）
			吹奏楽部「旭川市教育奨励賞」受賞

5 地域の実態

本校は、屯田兵が入植し開拓した地である東旭川市街地に位置し、開校以来、歴史と伝統を大切にする地域の教育の中心として大きな役割を果たしている。最近、農業中心であった地域産業が徐々に多様化し、入植当時の子孫の方々が減少している中、新興住宅地と隣接し道路交通網の整備や緑あふれる住宅環境の良さなどから、新しく住居を構える人々が多くなってきている。

今後、この地域は、伝統を大切にする人々と新しく住民となった人々により地域の創造が展開されていくものと思われる。

6 学級編成

（令和 6 年 4 月 1 日現在）

学年	1 年			2 年			3 年			特別支援学級			
組性	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男			
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	計			
1 組	17	12	29	23	12	35	20	13	33	せせらぎ（知）	5	1	6
2 組	17	12	29	22	12	34	19	13	32	そよかぜ（情）	13	2	15
計	34	24	58	45	24	69	39	26	65	ひだまり（病）	1	1	2
										全校生徒	118	74	192



学 校 経 営

1 教育目標

開拓精神を受け継ぎ、輝かしい未来を築く
心身共にたくましい生徒の育成を目指して

《目指す生徒像》

- ◆ 自ら学び、知性豊かな人になろう
- ◆ 美を愛し、豊かな心を持つ人になろう
- ◆ 健康な身体を養い、実行力のある人になろう

（昭和 51 年 4 月 1 日制定）

2 校訓

『 創 誠 健 和 』

3 めざす教育のあり方

■旭中は旭小とともに『共育』を推進します

■旭中は旭小とともに一体型校舎で『一貫・連携・協働』した教育を推進します

◎研修と児童生徒の交流、そして、「あさひやまプライドプロジェクト」を核に小中の「一貫・連携・協働」を推進します。

アフターコロナの状況等を踏まえながら柔軟に対応し、学びの保障に努めると同時に、いじめや不登校の未然防止に組織的に取り組み、子どもと向き合う時間の充実のため、より一層の働き方改革を推進します。

特に、デジタル化による教育手法の変革をさらに推し進めると同時に、学習指導要領の趣旨を踏まえ、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた「ジャンプ課題」を意識した「ジグソーパズル型」から「レゴ型」への授業改革に努めます。

4 年度の目標

令和 6 年度旭川市教委「教育行政方針」を受け、継続とステップアップ

取組 1 「未来を生き抜く力を育む」【逆境に負けない心を育む教育を推進】

取組 2 「学びの環境を整える」【地域学校協働活動と一貫教育の推進】

取組 3 「子どもたちをともに育て豊かな学びをつくる」【振る舞い教育の推進】

⇒ 「協力」から「学び合い」に

「教え合い」や「話し合い」から「学び合い」へと変革し、学校全体に「分からない・できないと言える風土」を創り上げる。

そのために、生徒がハツとして、聞きたくなる・してみたくなる・考えてみたくなるようにする。そんな、全校生徒に対する「学びの保障」と子どもと向き合う時間の確保のための「働き方改革」を両輪とし、年度の重点目標に掲げ、世界で一番「優しい学校」を目指します。

⇒ 「あきらめ」から「宝物」へアップサイクルの実現

『無理だ』とあきらめていた「実践」を新たな仕組みづくりにより実現させるアップサイクル

[illegible]

共に学ぶ ともに育つ

目指す学校像 目指す子ども像(15歳の姿) 目指す地域像

小中連携・一貫及び地域との連携による
9カ年の一貫性のある教育の推進

小中一体型の学校運営協議会

◇ 地域や家庭の意見を反映する場として、地域創生の一翼を担います ◇

- 重点を達成する教育活動への支援
- 支援を含む子供たちの育ちの見取り(評価)
 - ・中間評価→1年間の評価

【3階】

西階段

準備室

理科室

1年2組

1年1組

そよかぜ

東階段

水飲み場

トイレ

光庭

教材室

光庭

準備室

教材室

音楽室

美術室

準備室

多目的室

【2階】

西階段

家庭科室

2年2組

2年1組

せせらぎ

東階段

水飲み場

教材室

トイレ

光庭

教材室

光庭

準備室

教材室

生徒会室

図書室

ひだまり

教育相談室

準備室

コンピュータ室

【1階】

西階段

技術室

準備室

3年2組

3年1組

そよかぜ

南玄関

東階段

水飲み場

トイレ

光庭

職員トイレ

光庭

準備室

用務員室

作業室

スタジオ

放送室

配膳室

教育相談室

書庫

会議室

保健室

ホール

ボイラー室

体育館

ステージ

練習室

練習室

玄関

旭川市立旭川中学校校歌

中田猛夫 作詞
石山美治 作曲

一、繞る山脈 みどりに匂い
しぜんめく
自然の恵み ゆたけき里に
くに なみ さか ねが
国と民との栄えを希い
まな にわ
学びの庭に いそしみあえる
とも のぞ たか
友よとめん 望みは高し
なが いしなり とりやく すがた
二、流れ石狩 努力の姿
たかね あさひ りそく すがた
高嶺 旭は 理想の姿
とも さかぬ よい やええ
共に 栄行く世の 礎と
わか いのち
若き生命は あけくれあ燃ゆる
とも すす むす かた
友よ進まん 結びは堅し
のう へい
三、農と兵の み祖の鐵に
ひら つたえ
拓けし伝統 うけつぐわれら
まこと きわ こころ たた
真理を究め 心を正し
ほなる ゆき
雪に 雪に むつみてどよう

A cartoon illustration of a smiling tree with a face, arms, and legs. The tree has a light brown trunk and a large, bushy green canopy. It has large, expressive eyes, a wide smile showing its tongue, and small black dots for cheeks. Its arms are raised, and it is holding a single green leaf in its right hand. The tree has a simple, friendly appearance.

E-mail : postmaster@asahikawa.jhs.asahikawa-hkd.ed.jp